

# 令和5年度 こども園評価・自己評価結果公表シート

令和6年3月31日  
野の百合こども園 園長

## 1、評価項目の達成及び取り組み状況・今後に向けて

評価項目	取り組み状況
1、法人理念の理解 職員の道徳、倫理について	○「理念や目標に共感しているかどうか」という問いについて、昨年度と同様、保護者・職員共にA評価でした。創立以来受け継いできた「博愛の精神」を大切に地域に根ざしたこども園であり続けられるよう努めます。
2、教育及び保育について (めざす子どもの姿)	○「しなやかな身体」―規則正しい生活リズムの定着と朝の排便習慣については例年の課題です。特に就寝時間が遅くなっているため、元氣アップ週間などで睡眠の効果を保護者と共有し、規則正しい生活リズムの定着を図ります。 ○「豊かな心」―「こども園でいきいきと遊んでいる」についての保護者評価が昨年に比べて3.6%高くなりました。今後も、不思議さや面白さ、美しさなどを感じ、探索や探求を重ねていけるような環境を工夫します。 ○「学びの根っこ」―「家族で大切にしている決まりがある・子どもは決まりを守ろうとしている」についての保護者評価が昨年に比べて約12%低くなりました。社会の中には様々な決まりがあり、お互いにルールを守ることによって維持継続しています。「自分も大切・友達も大切・だから決まりを守ってみんなと一緒に過ごしたい」という思いを大切に、善いこと悪いことを考える力を育てていきます。
3、教育及び保育環境について	○園前に広い原っぱの「芝生園庭」が完成しました。中央にしだれ桜、芝生の周りには様々な草花が植えられ、緑豊かな環境です。大型遊具のある「野の百合広場」、砂場や築山のある「園庭」と合わせて活用します。 ○子ども達にとって周りにいる保育者が大切な環境であることを意識して関わりました。今後も子どもの手本となるよう努めます。
4、家庭、地域との連携について	○今年度より、保護者をお招きしての誕生会や保育参観、祖父母参観などを再開しました。園での活動に参加していただくことで、相互理解を深めることができました。今後も継続していきます。 ○消防署・地域の方と合同の避難訓練を行いました。温かく支えてくださる地域の皆様に感謝しています。

5、保健、安全管理について	○保護者・職員アンケートで両項目共にA評価でした。特に衛生面への配慮について、保護者アンケート評価が昨年度に比べて4.7%高くなりました。今後も職員間で連携して衛生・安全対策を行います。
6、職員の専門性に関する研修・資質の向上について	○福祉会合同の研修を4年ぶりに対面で開催しました。夏の研修では、東京より講師を迎え、にじみ絵と人形劇について学びました。また秋の研修では、南魚沼市教育委員 教育長を講師に迎え、南魚沼市の現状・小学校に向けて大事にしたいことや読み聞かせの素晴らしさを学ぶことができました。 ○研修での学びを職員・保護者で共有し、子ども達の育ちを支えていきます。

### 3、こども園関係者評価委員の評価

外部評価委員

令和5年度は新型コロナウイルスによる感染状況も大分落ち着き、国から5月には冬季インフルエンザ並みの第5類に移行するという内容の通達が発表されました。これに伴い当こども園におかれましてもお子さんたちが戸惑うことのないように、ゆるやかに従前の様式に近くなるように様々な面において配慮しながら、保育・教育活動が実施されました。コロナ感染症と相まってインフルエンザ等の流行もありましたが、さほど日常の保育・教育活動に影響することもなく正常に実施され、大きな成果をあげられました。これはひとえに園長先生を中心に全職員が目標達成に向けて心ひとつに、ご尽力された賜物です。職員の皆々様のご苦勞に対しまして心から敬意を表します。

#### ○保護者アンケート集計結果、回答率について

従前より実施している極めて重要な保護者アンケートです。回答率(回収率)が目標としている80%を下回ってしまったことは、どんな理由からなのか検討してみる必要があるかと思います。

→コロナ感染症が発症した令和2年度から4年度まで約3年間にわたり、従前より取り組んできた通常の保育・教育活動が妨げられました。その結果、単純にそのあおりを受けてのことなのかどうか検討を要します。アンケート結果の信憑性を考慮し、回収率のアップとさらなる信頼性の高いハイクオリティなこども園評価となるようにみんなで話し合い課題を共有し、高みを目指しましょう。

#### ○地域に根ざし愛され続け、受け入れられるこども園

当園におかれましては、地域に根ざした保育・教育活動を推進されておりますが、どの地域においても少子高齢化が急速に進みつつあります。このような状況を真摯に受け止め、崇高な保育・教育理念に基づいた保育・教育活動を展開し継続したとしても経営面から考えると、厳しい時期の到来も念頭にいた取組の重要性があげられます。

→当園の素晴らしい保育・教育活動の取組を地域や一般の方々からも認識していただくためにも、当園で実践している日頃の取組内容をオープンに公開し、園の活動内容や取組等を個人情報漏洩にならないよう配慮し

つつ広く情報公開したりすることによって、関心をもってもらい地域との連携と協働の質、保育・教育活動の高みを目指したいものです。子どもたちと直接関わり保育・教育を展開するのは先生方です。正しくマンパワーです。有能な人材発掘のためにも広報活動は有益な取組の一つです。

○主体的な取組から見えてくるもの

先生方のきめ細やかな配慮の下、園児たちの数々の素晴らしい活躍の見られた運動会や各種行事でした。さらに余裕を持ちながら楽しめる運動会や各種行事となるように、保護者の皆さんから当日役員のお手伝いボランティアを募って見たらどうか。というような建設的な意見がありました。クリスマス会の折、園児たちの発表の幕間に職員の皆さんによる合唱発表がありました。保護者アンケートの中にも日頃見られない先生方の素晴らしい歌声やにこやかな表情が印象的だったという内容の声が掲載されていました。

→こどもたちは大人のすることをよく見えています。昔からこどもは親の背中を見て育つと言われます。子どもは大人のすることを知らず知らずのうちにまねて、学んでいきます。主体的な行動のできるお手本となるロールモデルでありたいですね。

例年のように、保護者アンケートの中にいつも先生方から園児を細やかに温かく見守っていただいていることに対する感謝の声が随所に見受けられます。これは当園の保育・教育活動の中枢をなす3本柱の軸が一寸もぶれることなくどっしりと据えられ、充実した活動が実践され、大きな成果を上げられている証しです。未来を担うかけがいのないこどもたちが大きな夢と希望に向かって健やかに育つ認定こども園として、さらに邁進されますことを願っております。